

# 用語集

## あ行

### ◆アセットマネジメント

社会ニーズに対応した水道事業の役割を踏まえ、水道施設（資産）に対し、施設管理に必要な費用、人員を投入（経営管理、執行体制の確保）し、良好な水道事業サービスを持続的に提供するための事業運営。

いちにちさいだいきゅうすいりょう

### ◆一日最大給水量

年間の一日給水量の中で最大のもの。

いちにちへいきんきゅうすいりょう いちにちへいきんはいすいりょう

### ◆一日平均給水量（一日平均配水量）

年間の配水量（給水量）を一日当たりの平均値に換算したもの。

いちにちへいきんゆうしゅうすいりょう

### ◆一日平均有収水量

年間に料金徴収の対象となった水量を年間日数で除したもの。

りゅうじょうかっせいたんしより

### ◆オゾン・粒状活性炭処理

オゾンには高い酸化能力があるため、通常の処理（急速ろ過方式）では困難となる、細菌やウィルスの不活化、色や臭いの原因となる有機物質を分解する効果がある。粒状活性炭には目に見えない小さな穴が無数に空いており、オゾンにより酸化分解できなかった臭気物質やトリハロメタンの原因となる有機物質等を吸着除去する。なお、現在はオゾン処理の後に、粒状活性炭処理を行うことが義務づけられている。

## か行

かくちょうじぎょう

### ◆拡張事業

水源の変更や給水量の増加、区域の拡張など、厚生労働省の認可変更要件に該当する事業のこと。

か さん

### ◆過マンガン酸カリウム

過マンガン酸カリウムは、強い酸化力を持つため、溶解性の鉄・マンガン等を酸化させる作用がある。



かんいすいどう

◆**簡易水道**

計画給水人口が 5,000 人以下である水道のこと。施設が簡易ということではなく、計画給水人口の規模が小さいものを簡易と規定している。

かんそく か

◆**緩速ろ過**

浄水方法の一つで、砂層表面や砂層に増殖した微生物群によって水中の浮遊物質や有機物などの汚れを捕捉、酸化分解することにより原水を浄化するもの。比較的良好な原水に適する。

かんろ こうしんりつ

◆**管路の更新率**

整備した管路に対して、その年度に更新した管路延長の割合。

きぎょうさい

◆**企業債**

水道施設の整備など、建設改良費等の財源として借り入れる借入金のこと。

きぎょうさいざんだか

◆**企業債残高**

国等からの借入金を企業債といい、建設改良に充てるために発行した企業債の未償還残高を企業債残高という。

きゅうすい

◆**給水**

水道事業者が布設した配水管からお客さまの給水栓まで水道水を送ること。

きゅうすいいきないじんこう

◆**給水区域内人口**

給水が可能な区域の居住人口。

きゅうすいしゃ

◆**給水車**

給水タンクを備えた車両のこと。配水管工事、配水管漏水工事等による一時的断水及び災害時等において、お客さまに対し、通常の状態では水道を供給することが不可能な地区に、一時的に飲料水として利用してもらうための手段として使用する。

きゅうすいしゅうえき

◆**給水収益**

営業収益の一つで、水道料金がこれにあたる。



きゅうすいじんこう

◆ **給水人口**

給水区域内に居住し、給水を受けている人口のこと。

きゅうすいせん

◆ **給水栓**

給水装置の末端部に取り付けられる蛇口等のこと。

きゅうそく かち

◆ **急速ろ過池**

沈澱池で沈まない小さな濁質を砂でろ過して除去するための池。

ぎょうしゅうざい

◆ **凝集剤**

凝集剤は、容易に沈降しない小さな粒子をくっつけて、沈でんしやすい大きさの粒子にさせる作用をもっている。日本では、一般的に水道用硫酸アルミニウム（硫酸バンド）、ポリ塩化アルミニウム（PAC）が使用されている。

ぎょうむしひょう

◆ **業務指標**

水道事業における業務指標（PI）とは、水道業務の効率を図るために活用する規格の一種であり、水道事業者が行っている多方面にわたる業務を定量化し、厳密に定義された算定式により評価するもの。この業務指標（PI）を活用すると、効率性、安全性等の水道業務の程度を分かりやすく定量化できるようになる。

きんきゅうしゃだんべん

◆ **緊急遮断弁**

地震や管路の破裂等の異常が発生すると、自動的に閉止できる機能を持った弁（バルブ）のこと。

きんきゅうれんらくかん

◆ **緊急連絡管**

災害などの緊急時に隣接する水道事業者との間で水を相互融通できるように設置した水道管のこと。

けんしんぎょうむ

◆ **検針業務**

お客さまの水道メーターから使用水量を調べる業務。



げんかしょうきやくひ

◆減価償却費

長期間にわたって使用できる固定資産の取得に要した支出を、取得資産の耐用年数の間に少しずつ費用として計上していく会計処理のことを減価償却といい、減価償却費はその費用のこと。

こうじょうすいしより

◆高度浄水処理

通常の浄水処理では十分に対応できない物質の処理を目的として、通常の浄水処理に追加して導入する処理のこと。代表的な高度浄水処理の方法としては、オゾン処理法、活性炭処理法、生物処理法およびエアレーションがあり、処理対象物質などによってこれらの処理方法が単独またはいくつかの組み合わせで用いられる。

こうかん

◆鋼管

素材に鋼を用いていることから、強度に富み、延伸性も大きいため、大きな内・外圧に耐えることができる。一方、内外面に高度防食塗装を要することから、ほかの管材に比べ施工性に劣る。

こうしつえんか

◆硬質塩化ビニル管

塩化ビニル樹脂を原料とする管で、耐食性、耐電食性に優れているが、熱や紫外線に弱いという特徴がある。また、シンナーなどの有機溶剤により軟化する。

こんわち

◆混和池

注入した薬品を均一に行き渡らせるための池。

## さ行

さんかざい

◆酸化剤

電子を受け入れて還元することにより、他の物質を酸化させる物質。狭義には過マンガン酸カリウム、重クロム酸カリウムなど強酸化剤を指すことが多い。

じかようはつでんせつび

◆自家用発電設備

電力会社から供給を受けている電力とは別に、事業所内で必要な電力を独自に発電する設備。



じこすい  
◆自己水

水道事業者が独自につくる水道水のことを指す。本市では、津田浄水場や蕎原浄水施設でつくられた水道水が該当する。

しぜんりゅうかほうしき  
◆自然流下方式

ポンプ等の動力を使わずに、位置エネルギーを利用して、水を高い位置から低い位置へと流下させる方式のこと。

しゅうえきてきしゅうし  
◆収益的収支

企業の経営活動に伴って発生する収入とこれに対応する支出のこと。

じゅすい  
◆受水

他の水道事業者から水道水を購入することをいう。本市では、大阪広域水道企業団から水道水を購入している。大阪広域水道企業団は淀川を原水として高度浄水処理（オゾン処理、粒状活性炭処理等）した浄水を府内全域（大阪市を除く）に届けている。

じゅすいそう  
◆受水槽

各水道事業者の基準により直結給水方式ができない場合、または需要者が常時一定の水量を使用する場合などに、需要者が設置する水槽のこと。

しゅすいりょう  
◆取水量

地表水、河川水、湖沼水およびダム水、地下水から適切な取水施設を使い原水を取り入れることを取水といい、その水量を指す。

じょうすいどう  
◆上水道

一般的に水道事業のうち、計画給水人口が5,000人を超える水道を指す。

すいしつきじゆん  
◆水質基準

水道法第4条に基づく「水質基準に関する省令」（厚生労働省令）に定められている。現在51項目について、基準が設けられている。

すいどうじぎょう  
◆水道事業

計画給水人口が100人を超える水道により、水を供給する事業をいう（水道法第3条第2項）。



すいどうふきゅうりつ

◆水道普及率

行政区域内の人口に対する、給水区域内の人口割合を指す。

せいかつようすいりょう

◆生活用水量

使用水量を用途別に分類したものの一つで、原則として一般家庭で使用される水のこと。

そうあつ                      ほうしき

◆増圧ポンプ方式

管路の途中に増圧用のポンプを設けることで、配水管の水圧を上げ、通常は直結給水方式が困難な階高でも直結で給水する方式のこと。

そうすいかん

◆送水管

浄水場で処理された水道水を配水池等まで送る管路のこと。

## た 行

たいしんかん

◆耐震管

導・送・配水管において、地盤の変動に対して順応できる、大きな伸縮性と離脱防止機能を備えた耐震型継手を有するダクタイル鋳鉄管、鋼管及び水道配水用ポリエチレン管をいう。ダクタイル鋳鉄管の耐震型継手には S 形、S II 形、NS 形、GX 形、US 形、UF 形、KF 形、P II 形等がある。

たいようねんすう

◆耐用年数

本来の用途に使用できると思われる推定年数のことである。なお、耐用年数には、減価償却費を算出するための「法定耐用年数」の他、施設や管路の特徴に基づいて独自に設定する「更新基準年数」などがある。

ちゅうてつかん

◆ダクタイル鋳鉄管

ダクタイル鋳鉄は、鋳鉄に含まれる黒鉛を球状化させたもので、鋳鉄に比べ、強度や靱性に豊んでいる。施工性が良好であるため、現在、水道用管として広く用いられている。



ちゅうてつかん

◆ **鋳鉄管**

鉄、炭素、ケイ素からなる鉄合金(鋳鉄)で作られた水道管。管材の特性上もろくて、ダクタイト鋳鉄管と比べて地震動によるひび割れが発生しやすいため現在は製造されていない。

ちよすいそうすいどう

◆ **貯水槽水道**

水道水を水源とし、その水をいったん受水槽に受けた後、建物の利用者に飲み水として供給する施設の総称を貯水槽水道という。

ちよっけつきゅうすい

◆ **直結給水**

水道利用者の必要とする水量、水圧が確保できる場合に、配水管の圧力を利用して給水する方式。配水管圧力だけで末端まで給水する直結直圧式給水と、配管途中に増圧設備を挿入して末端までの圧力を高めて給水する直結増圧式給水がある。

つぎて

◆ **継手**

管と管を継ぎ合わせる部品などをいう。

どうすいかん

◆ **導水管**

水道用原水を取水施設から浄水場まで送る管路のこと。

## な行

なまりせいきゅうすいかん

◆ **鉛製給水管**

材質が鉛の給水管をいう。

## は行

はいすいかん

◆ **配水管**

配水池等からお客さまのもとまで供給するために布設されている管路のうち、給水管等を除く部分のこと。



はいすいち

◆配水池

給水区域の需要量に応じて適切な配水を行うために、浄水を一時貯える施設。配水池容量は、需要に応じた必要水量と、配水池より上流側の事故発生時にも給水を維持するための容量および消火用水量を考慮して、一日最大給水量の12時間分を標準としている。

ひょうりゅうすい

◆表流水

湖沼や河川を流れている水のこと。

ふかいど

◆深井戸

被圧地下水を取水する井戸をいい、ケーシング、スクリーンおよびケーシング内に釣り下げた揚水管とポンプで構成されている。

ふかりつ

◆負荷率

給水量の変動の大きさを示すものであり、次式のように表される。

(式) 負荷率＝一日平均給水量÷一日最大給水量×100(%)

かん

◆ポリエチレン管

プラスチック管の一種で、重量が軽く施工性がよい管で、耐食性に優れている。熱や紫外線に弱く、有機溶剤による浸透に注意する必要がある。また、従来のポリエチレン管と比較して、耐震性、柔軟性、耐食性、軽量に優れた高密度ポリエチレンを使用した管がある。

えんか

◆ポリ塩化アルミニウム

水中にある濁質の凝集効果を高めるために注入する。

## ま行

むきぶっしつ

◆無機物質

業務指標でいう無機物質は、水質基準に定める、アルミニウム及びその化合物、塩化物イオン、カルシウム及びマグネシウム等（硬度）、鉄及びその化合物、マンガン及びその化合物、ナトリウム及びその化合物の6種類をいう。アルミニウム及びその化合物、鉄及びその化合物、マンガン及びその化合物は色水、濁水の原因となる。塩化物イオンは下水、家庭排水、ふん尿等に含まれるので汚染の指標になる。



## や行

ゆうきぶつ

### ◆有機物

水中に存在する有機物中の炭素を有機炭素または全有機炭素（total organic carbon, TOC）といい、水中の有機物濃度を推定する指標として用いられる。

ゆうしゅうすいりょう

### ◆有収水量

料金徴収の対象となった水量および他会計等から収入のあった水量のこと。

ゆうしゅうりつ

### ◆有収率

有収水量を給水量で除したもの。

ようとべつていそうがたにぶりようきんせい

### ◆用途別逓増型二部料金制

用途別逓増型二部料金制とは、用途別に基本料金と超過料金を設定し、使用水量が多いほど料金単価が高くなるというもので、小口が中心となる生活用水の料金が相対的に低くなる、水需要の増加が抑制される等の利点がある。

## ら行

りゅうどうひりつ

### ◆流動比率

1年以内に支払うべき債務に対し、支払うことができる現金などがどの程度あるかを示す指標。

（式）流動比率＝流動資産/流動負債×100（％）

